

## R4 コロナ禍の中でのPTA等、集会における工夫

丸山小学校	<p>11月22日(水)の参観日後、PTA・公民館共催講演会が行われました。長野県飯田保健福祉事務所長 松岡 裕之先生をお招きして、新型コロナウイルス感染症についてお話をいただきました。「コロナ感染の状況」「アルコール消毒、換気、石鹸での洗浄が有効等の対応について」「オミクロン株について」などわかりやすくお話をしていただきました。</p> <p>&lt;保護者の方からの感想より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナへの怖さもありませんが、話を聞いて、冷静に対応することができそう。</li> <li>・現状の様子が気になっていて、参考になった。</li> <li>・数字等で説明を受けて、今まで知らなかったことを詳しく知ることができた。</li> <li>・コロナと共存していくには、換気・マスク・手洗いを徹底する。感染してもできるだけうつさない対応をしていきたい。</li> <li>・検査の時期に気をつけて検査をしたいと思った。換気の大切さがよくわかった。</li> <li>・withコロナで生活していくためには、正しい知識は必要だと感じた。コロナ禍だからこそそのテーマで、関心を持って参加していただくことができる機会となりました。</li> </ul>	
千代小学校	<p>保護者と児童と一緒に聴く睡眠についての講演会を開催しました。感染対策のため、児童も保護者も椅子を用意し、間隔を取って座れるようにしました。保護者からは、児童と同じ内容で講演を聴いたことによって、健康を考えた睡眠についてどんな約束をするか、子どもも納得して決められてよかったというような感想をいただきました。</p>	
阿智第一小学校	<p>9/16(金) PTA講演会 PTA講演会および学校保健協議会という名目で講演会を開催しました。演題「LGBT啓発授業～当事者が語る現状と課題～」講師の長岡春奈先生にご講演いただきました。保護者の方には「よい題材で、今の時代に合った体験や話が聞けました。子どもたちが聞いて自分がそうになっているとき、相談することや知識を持つことが大切だと思いました。という感想を頂きました。換気をしながら、席と席の間を十分とり、参加者は全員前を向き講演を聞くようにしました。</p>	
喬木第一小学校	<p>昨年度同様、本校ではPTAの主だった行事が中止になりました。そんな中、学年学級部では学級親子レクの実施について、今年度は保護者アンケートをとり、実施の可否を決めました。結果として全学級実施せずでしたが、来年度につながる意見をいただけてありがたかったです。来年度は、いくつかの活動が実施できればいいなあと考えています。</p>	
天龍中学校	<p>本校では、毎年5月下旬にPTA作業を行っています。コロナ禍ではありましたが小規模の学校ということもあり、親子で作業をすることができました。例年は、長い時間の作業ですが、作業時間を1時間30分以内におさめたり、人をできるだけ分散して密になることがないようにしたりして工夫をしました。令和6年度からは小中併設校となるため、来年度は現天龍中学校での最後のPTA作業となります。コロナ禍であってもより工夫をしながらPTA作業ができたと思います。</p>	
豊丘中学校	<p>5月15日(日) PTA環境整備作業 通常はPTA会員、学校職員、生徒が多数参加して行われる。この時は規模を縮小してPTA役員、学校職員のみで行った。作業箇所を限定して、作業時間も本来の半分ほどに短縮した。作業前後の会は、必要最小限の内容で短時間行った。縮小実施ではあったが、作業が必要とされていた箇所の整備は、十分に行われた。</p>	
飯田養護学校	<p>本校PTAでは、年に3回PTA会報「ひだまり」を発行しています。その活動に携わるのは、PTA教養部の保護者(約50人)。例年は、教養部員が3回のうち1回学校に集まり、編集会議(企画や文書の依頼等)を行っていましたが、コロナ禍により集まるのが困難になってしまいました。そこで、文書依頼等は担当の職員が行うこととして、教養部員の役割を下刷りの校正に変更しました。印刷所から上がってきた下刷りを担当職員がコピーして渡し、家庭で校正作業ができるようにしたのです。担当するのは一人2ページ、年1回。PTA活動としては賛否あるかもしれませんが、家庭で作業ができるという意味では概ね好評です。</p>	